

に、同社で製造したソーセージを贈った。

定期的に同施設へタマネギを贈っている防府市の「山口玉ねぎ本舗」が提案し、鹿野ファームは10月に豚ステーキ肉300枚を寄贈。これが好評だったことから、ソーセージも贈ることにした。

寄贈は14日で約20キロ分。

この日、同社食肉グループ長の倉増道博さん(40)が訪れ、2～19歳の約50人と一緒に夕食を楽しみながら、ボイルされたソーセージを渡していた。

倉増さんは「今後是一緒にソーセージ作りの体験などもしたい。おいしそうに食べてくれてよかった」と話していた。



子どもたちにソーセージを配る倉増さん(左)

ソーセージ贈り 夕食を楽しむ

周南の畜産会社

周南市の畜産・食肉加工会社「鹿野ファーム」が、防府市の児童養護施設「防府海北園」(岩城淳園長)